

9.建設汚泥の再生利用形態別_有効利用事例（地盤改良工事）

対象原泥	発生種別	連続地中壁	地盤改良工（改良工）	基礎杭工事排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比（%）	80～150%			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5～15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	残土利用
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	エコソイルX			
	同上使用量（kg）	12kg/m			
	固化材	グリーンライムLS			
	同上使用量（kg）	55kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	90m ³	日最大施工量	100m ³	
	総量（m ³ ）	2,600m ³	処理機構成	40m ³ 機×1台（セパレート型）	

【概要説明】

工事箇所近隣に高圧噴射攪拌工法から排出される自硬性汚泥の中間処理施設がなく、一番近い箇所でも片道2時間程度必要である。汚泥の処理費用の低減及び廃棄物の再生利用を目的に、排出される自硬性汚泥を安定処理にて処理し、埋戻土等に再生利用するとされている。安定処理工法として粒状固化処理工法にて安定処理を実施した。



40m³機-排泥-貯泥調泥処理状況



泥土搬入（バキューム車）



貯泥調泥処理状況



泥土処理状況